

業績一覧

(2012年6月現在)

法政大学経済学部・大学院経済学研究科教授
河村哲二

1. 著書・論文

(1) 著書(単著)

河村哲二著 『現代アメリカ経済』 有斐閣、2003年4月(総頁数 384 頁+)。

河村哲二著 『第二次大戦期アメリカ戦時経済の研究 「戦時経済システム」の形成と「大不況」からの脱却過程』 御茶の水書房、1998年12月(総頁数 342 頁+) 河村哲二著 『パックス・アメリカナの形成 アメリカ「戦時経済システム」の分析』 東洋経済新報社、1995年4月(総頁数 339 頁+)。

(2) 編著書

本山 美彦、大野和興、三上治、川元祥一、河村哲二編著 『3.11 から一年 近現代を問い直す言説の構築に向けて』 御茶の水書房、2012年5月、227頁。

Kawamura, Tetsuji, ed., *Hybrid Factories in the United States under the Global Economy*, Oxford University Press, July 2011 (320 pages).

河村哲二編著 『グローバル経済下のアメリカ日系工場』 東洋経済新報社、2005年4月(総頁数 403 頁+)。

河村哲二編著 『制度と組織の経済学』 日本評論社、1996年10月(総頁数 340 頁+)。

河村哲二・柴田徳太郎編 『現代世界経済システム 変容と転換』 東洋経済新報社、1995年10月(総頁数 438 頁)。

(3) 著書(共著)

SGCIME編、河村哲二他著 『現代経済の解説 グローバル資本主義と日本経済』 御茶の水書房、2010年5月(総頁数 318 頁+) (第1章「グローバル資本主義の現局面 アメリカ発のグローバル金融危機の意味」5-47頁)。

河村哲二・弘兼憲史著 『知識ゼロからのアメリカ経済入門』 幻冬舎、2009年8月(総ページ数 170 頁)

SGCIME編、河村哲二他著 『グローバル資本主義と景気循環』(シリーズグローバル資本主義第1集第4巻)、御茶の水書房、2008年3月(総頁数 318 頁+) (第1章「アメリカの1990年代長期好況とニューエコノミー」、1-47頁)。

SGCIME編、河村哲二他著 『グローバル資本主義と企業システムの変容』(シリーズ第1集グローバル資本主義第3巻)、御茶の水書房、2006年3月(総頁数 332 頁+) (第5章「アメリカ企業と蓄積体制 現代資本主義と企業」、131-167頁)。

SGCIME編、河村哲二他著 『グローバル資本主義と世界編成・国民国家システム 世界経済の構造と動態』(シリーズグローバル資本主義第1集 第1巻)、御茶の水書房、2003年6月(総頁数 331 頁+) (総序論「戦後パックス・アメリカナの転換と『グローバル資本主義』」、3-45 頁、序章「世界的インパクトの源泉としてのアメリカ」49-98 頁)。

安保哲夫・板垣博・上山邦夫・河村哲二・公文溥著 『アメリカに生きる日本の生産システム』 東洋経済新報社、1991年年9月(総頁数 279 頁+)、(第2章「日本の生産システムの特徴的諸要素とその国際移転モデル」27-62 頁、第5章D「半導体(IC)産業」166-178 頁、第6章D「半導体工場の諸類型」222-234 頁)。

The Institute of Social Science, University of Tokyo, Research Report No.23 (with Tetsuo Abo and Others), *Local Production of Japanese Automobile and Electronics Firms in the United States*, The Institute of Social Science, University of Tokyo, March 1990, pp.22-42.

(4) 著書(章等の執筆)

菅原陽心編 『中国社会主義市場経済の現在 中国における市場経済化の進展に関する理論的実証的分析』 御茶の水書房、2011年2月(総ページ数 418 頁+) (第6章「グローバル経済化の進展と中国経済の課題」137-176 頁)。

齊藤叫編著 『世界金融危機の歴史的位相』 日本経済評論社、2010年4月、総頁数 269 頁(第4章「現代資本主義の『グローバル資本主義化』とグローバル金融危機」99-141 頁)。

Tetsuo Abo, ed., *Japanese Hybrid Factories: A Worldwide Comparison of Global Production Strategies*, Palgrave-Macmillan, August 2007 (256 pages), (Chapter 2, "Hybrid Factories in North America: The Present State and History of the Japanese Management and Production System in the United States," pp.36-64).

古矢旬・山田史郎編著 『権力と暴力』(シリーズ「アメリカ研究の越境」第2巻) ミネルヴァ書房、2007年6月(総頁数 304 頁+) (第八章「企業社会の権力 - 戦時労使関係にみるその『制度化』」、177-203 頁)

苑志佳編 『中東欧の日系ハイブリッド工場』 東洋経済新報社、2006年10月(総頁数 363 頁) (第2章第3節「日本電気企業の中東欧展開 チェコ松下を中心に」、135-148 頁)

アメリカ学会編 『原典 アメリカ史 第八巻 衰退論の登場』 岩波書店、2006年06月、総頁数 305 頁+

(三 「オイルショック」196 - 206 頁)

公文溥、安保哲夫編 『日本型経営・生産システムとEU ハイブリッド工場の比較分析』 ミネルヴァ書房、2005年9月(第6章「イギリスにおける電機組み立てのハイブリッド工場 経営環境の変化と『適用』の進展」、153-183 頁)

- 上山邦雄、日本多国籍企業研究グループ編『巨大化する中国経済と日系ハイブリッド工場』 実業之日本社、2005年4月、408P+(第12章「華南・珠江デルタ地域における日系現地工場 電機・電子を中心に」、pp.274-298)
- Kumon, Hiroshi and Tetsuo Abo, ed., *Hybrid Factory in Europe : The Japanese Management and Production System Transferred*, Palgrave Macmillan; October 2004, 384P+ (Chapter 4 " United Kingdom: Electronics Assembly" pp.75-99.).
- 山口重克編著『東アジア市場経済 多様性と可能性』 御茶の水書房、2003年2月、総頁数 427 頁(第12章 「中国・台湾の経済発展と日系現地企業」、365-424 頁)
- Vipin Gupta,ed., *Transformative Organizations: A Global Perspective*, Response Book, December 2003, 532p+(Chapter 17, Kawamura,Tetsuji, "Transformational Forces in the American Corporate System -- Managing Changes in the Production Methods and Workforce Organization," pp.301-321).
- 武蔵大学公開講座『日本企業と世界の経済』 御茶の水書房 2001年10月(総頁数 194 頁+)(「アメリカ経済の衰退と再生」、141-194 頁)、
- Itagaki, Hiroshi,ed, *The Japanese Production System: Hybrid Factories in East Asia*, Macmillan, 1997, (Chapter 5, Kawamura, Tetsuji, "Asian Operations of Representative Japanese Multinationals: Matsushita Electric Company and Sony Corporation," pp.299-318).
- 板垣博編著『日本の経営・生産システムと東アジア』 ミネルヴァ書房 1997年2月 (第5章「電機組立のハイブリッド工場」、189-217 頁)。
- 伊藤誠、野口真、横川信治編『マルクスの逆襲』日本評論社 1996年 (第7章「パックス・アメリカナ後の労使関係」、183-219 頁)。
- 伊藤誠、岡本義行編『情報革命と市場社会システム』 富士通ブックス 1996年 (第6章「日本型生産システムとME情報化」、171-205 頁)。
- 春田素夫編著『現代アメリカ経済論』 ミネルヴァ書房 1994年(第4章「第二次大戦と戦後アメリカ産業発展の基盤」 101-138 頁、 第7章 A「アメリカ産業再生への摸索」、241-258 頁)。
- Abo,Tetsuo,ed., *HYBRID FACTORY*, Oxford University Press, 1994 (Capter 2: "Characteristics of the Japanese Production System and Its International Transfer Model.," pp.26-57, Chapter 6: "Semiconductor Industry," pp. 123-227).
- 安保哲夫、柴垣和夫、河合正弘編著『日米関係の構図 相互依存と摩擦』 ミネルヴァ書房 1992年12月(第5章 E「半導体工場」、165-178 頁)。
- 山口重克編『市場システムの理論』 御茶の水書房 1992年3月 (第三章「第二次大戦アメリカ戦時経済と現代資本主義論 戦後景気循環の変容をめぐって」)。
- 降旗節雄編『日本経済危険な話』 御茶の水書房 1988年9月 (「『ブラックマンデー』 アメリカをめぐる金融的展開とその帰結」、71-90 頁)。
- 安保哲夫編著『日本企業のアメリカ現地生産』 東洋経済新報社 1988年3月 (第二章「日本の経営の特征的諸要素と国際化」、33-58 頁)。
- 侘美光彦、杉浦克己編『世界恐慌と国際金融』 有斐閣 1982年1月 (第一章「1920年恐慌 - アメリカを中心として」、31-101 頁)。
- 山口重克、侘美光彦、伊藤誠編『競争と信用』 有斐閣 1979年8月 (第4章「流通費用と利潤率均等化」、127-174 頁)。

(5)論文

- 河村 哲二「パックス・アメリカナの危機(下)」『情況』2009年5月号 2009年5月1日、46-63 頁。
- 河村哲二「アメリカ発のグローバル金融危機 グローバル資本主義の不安定性とアメリカ」『季刊経済理論』46 巻1号、2009年4月20日、4 - 21 頁。
- 河村 哲二「パックス・アメリカナの危機(上)」『情況』2009年4月号 2009年4月1日、67 - 91 頁。
- 河村哲二「グローバル金融危機と現代資本主義の『グローバル資本主義』化」、生活経済政策研究所『生活経済政策』No.114、2009年1月、25-33 頁。
- 河村哲二「サブプライム・ローン危機 グローバル資本主義の不安定性とアメリカ」経済理論学会第56回大会報告集(共通論題「サブプライム・ショックとグローバル資本主義のゆくえ」報告用)、2008年9月、全18 頁。
- 河村哲二「グローバル資本主義とパックス・アメリカナの転換 現代資本主義の歴史的位相をめぐって」『アソシエ』 第20巻、2008年4月、pp.62-75。
- Kawamura, Tetsuji, "Potential of Asian Economic Integration: A Perspective from the Strategy of Japanese Enterprises," Research and Information System for Developing Countries, India, RIS Discussion Paper, #136, April 2008.pp.1-23.)
- 河村 哲二「侘美光彦氏の経済学方法論について」『情況』2005年8・9月号、pp.182-191。
- 「アジア通貨金融危機後のアジア経済の再編 研究成果の概要と今後の課題」武蔵大学総合研究所紀要 No.14, pp.1-28、2005年3月
- "Hybrid Factory in North America -- the present state and history of the Japanese management and production system in the United States: comparison between 1986-89 and 2000-01," in JMNESG, *JAPANESE HYBRID FACTRIES IN WORLD WIDE COMPARISON*, Proceedings of Teikyo System LAB Symposium, November 3, 2004, pp.29-59.
- 「パックス・アメリカナの転換と『グローバル資本主義』」『アソシエ』 No. 13、2004年4月8-21 頁。
- 「『中間理論』の意義と課題 野口真氏の所説をめぐって」『専修大学社会科学月報』 489号 2004年3月20日、41-64 頁
- 「パックス・アメリカナ全盛期のアメリカ経済」アメリカ学会『アメリカ研究』 第37号、2003年3月、23-43 頁。

- 「1990年代の『持続的好況』の特徴と問題点 戦後パックス・アメリカナ経済システムの転換と『ニューエコノミー』」 経済理論学会『年報』 第39集、2002年9月、22-38頁
- 「1980年代以降のアメリカ経済の再編とその世界経済的意義」 『武蔵大学論集』 47巻第3,4号 2000年3月、185-224頁
- 「アメリカ経済の戦後再転換(1945-1949) 戦後経済システムへの移行」 土地制度史学会『土地制度史學』別冊、土地制度史學會第63回記念大会報告集、1999年9月、81-92頁。
- 「深圳・広州周辺地区における日系電機工場の経営実態」 『帝京経済学研究』 第30巻第2号 1997年3月31日、1-29頁。
- 「アメリカ:戦時経済と戦後企業体制の形成」 『社会経済史学』 第60巻第1号、1994年4・5月、41-80頁。
- 「韓国・台湾における日本型生産システム(3) 電機組立工場」 東京大学社会科学研究所 『社会科学研究』 第45巻第5号 1994年2月、89-120頁。
- 「第二次世界大戦アメリカ戦時経済論 「戦時高蓄積」構造と戦後の「持続的成長」構造:戦後景気循環の変容をめぐる」 東京大学博士学位論文(1994年1月学位認定) 総頁数451頁。
- 「第二次大戦アメリカ戦時経済と戦後景気循環の変容」 『帝京 経済学研究』 第25巻第1号 1991年12月、63-274頁。
- 「第二次大戦初期アメリカ国防生産体制の展開」(5・完)、『帝京 経済学研究』 第24巻第2号 1991年3月、89-187頁。
- 「第二次大戦初期アメリカ国防生産体制の展開」(4)、『帝京 経済学研究』 第24巻第1号 1990年12月、57-138頁。
- 「第二次大戦初期アメリカ国防生産体制の展開」(3)、『帝京 経済学研究』 第22巻第1・2号合併号 1988年12月、1-70頁。
- 「『社会的蓄積構造』理論と労働の変容」 『季刊 クライシス』 社会評論社 1988年秋。
- 「第二次大戦初期アメリカ国防生産体制の展開」(2) 『帝京 経済学研究』 第21巻第1・2号合併号 1987年12月、1-51頁。
- 「第二次大戦初期アメリカ国防生産体制の展開」(1) 『帝京 経済学研究』 第20巻第1・2号合併号 1986年12月、1-68頁。
- "A Paradoxical Aspect of the Militarization of the United States Economy after World War II," 『帝京 経済学研究』 第16巻第1・2号合併号 1983年3月1日、263-288頁。

(6) 翻訳

- Dumenil, Gerard and Dominique Levy, "Neo-Liberalism and Neo-Imperialism" 河村哲二・関根友彦訳 「新自由主義と新帝国主義」 経済理論学会『季刊 経済理論』(Political Economy Quarterly)、第43巻第1号、2006年4月。
- Saskia Sassen, "Globalization or Denationalization?: Comparing Research Strategies," "サスキア・サッセン「グローバル化か、脱国民国家化か?」 経済理論学会 『季刊 経済理論』(Political Economy Quarterly)、第42巻第1号、2005年4月。
- Bonazzi, G., "New Development in the Debate on the Japanese Model," 「日本モデル論争における新たな進展」(共訳) 日本評論社 『経済セミナー』 1996年6月号
- Wilkins, Mira, "Japanese and European Management: Their International Adaptability"(a Book Review), 東京大学社会科学研究所 『社会科学研究』 第41巻第5号 1990年3月。
- 河村哲二・伊藤誠訳 『アメリカ資本主義と労働』 東洋経済新報社 1990年4月(David Gordon, Richard Edwards and Michael Reich, *Segmented Works Divided Works*, Cambridge University Press, 1982.)
- 伊藤誠・桜井毅・山口重克編 監訳 『欧米マルクス経済学の新展開』 東洋経済新報社 1978年4月(第三章 D.M. ヌッティ「所得分配理論における『俗流経済学』」)

2. その他

(1) 学会発表

- 河村哲二 「グローバル資本主義化によるアメリカ経済の新たな発展構造とその限界 戦後パックス・アメリカナの衰退と転換との視角から」 アメリカ学会第22回年次大会シンポジウム:「アメリカ衰退論」再考、名古屋大学、2012年6月2日。
- 河村哲二 「グローバル金融危機と中国の経済発展モデルの転換 新たな挑戦の現状と課題」 日本国際貿易促進協会講演会(千代田区一ツ橋「如水会館」)2011年11月25日。
- 河村哲二 「グローバル化下の日本の『二重の危機』と再生への課題」 法政大学サステナビリティ研究教育機構第1回国際シンポジウム「持続可能な未来の探求 グローバリゼーションによる社会経済システム・文化変容とシステム・サステナビリティ」、基調報告1、国連大学 ウタント国際会議場 2011年11月20日。
- Kawamura, Tesuji "New Challenges of Chinese Economy in the post-Financial Crisis," 2010年11月20日中国社会科学院工業経済研究所, "World and Chinese Economy in the post-Financial Crisis Era" Forum, November 20, 2010, Beijing, China.
- Kawamura, Tetsuji, "A Comment on 'The Melt-down of the Global Economy: A Keynes-Minsky Episode?'"(Dr. Sunanda Sen) 6th International Keynes Conference at Sophia (IKCS), The World Economic Crisis and Keynes -- Manifesto of the Transformation, Japan, March 2 (Tues.) and 3(Wed.), 2010, held at L-921, Sophia University, Tokyo, March 2, 2010.
- 河村哲二 「グローバル資本主義化とアメリカ発グローバル金融危機・経済危機 「戦後パックス・アメリカナの衰退と転換」の視角から」 社会理論学会第17回総会・研究大会 「世界恐慌の原因と対策」 明治大学駿河台キャンパス 2009年11月28日。
- Kawamura, Tetsuji, "Changing International Framework of Asian Economic Developments -- from a perspective of the Asian regional economic integration under the transfiguration of the Postwar Pax Americana," *The Korean and Japanese industries and our great cooperation: The importance of supporting industries*, September 17, 2009. School of Social Science, Gyeongsang National University, Korea.

- Kawamura, Tetsuji, "Comment on the 'México-Japón -- Oportunidades y retos,'" El acuerdo de asociación económica México – Japón, La Dra. Melba Falck ofrecerá conferencia en El Colef - Tijuana, el lunes 24 de agosto, en el aula magna Raúl Rangel de El Colef Tijuana, Mexico. <http://www.colef.mx/eventos/evento.asp?Evento=1047#ixzz0m7gJ5Xga>
- 河村哲二「アメリカ発グローバル金融危機・経済危機とグローバル資本主義化 「戦後バックス・アメリカーナの衰退と転換」の視角から」 政治経済学・経済史学会 2009 年春季総合研究会『現代資本主義の転換とその歴史的位相をめぐって』東京大学経済学部、2009 年 6 月 27 日
- 河村哲二「サブプライム・ローン危機 グローバル資本主義の不安定性とアメリカ」経済理論学会第 56 回大会共通論題「サブプライム・ショックとグローバル資本主義のゆくえ」報告、2008 年 10 月 26 日、九州大学。
- 河村 哲二「『段階論』構成の方法と資本主義の諸カテゴリーの現実態 『純化』・『不純化』論をこえて」宇野弘蔵没後 30 年研究集会「宇野理論を現代にどう活かすか」コメント、2007 年 12 月 1 日、武蔵大学。
- Kawamura, Tetsuji, "Potential of the Asian Economic Integration: observations from the viewpoint of Business Operations and Strategies of Japanese Firms and the significance of ERIA and other schemes," presented at The Sixth High-Level Conference on Asian Economic Integration: Agenda for East Asia Summit, 12-13 November 2007, Shangri-La Hotel, New Delhi, India
- Kawamura, Tetsuji, "Historical Dimension of the Global Capitalism: The transformation of the Pax Americana and the stage theory of the modern capitalism," presented at the Third Conference of International forum on Comparative Political Economy of Globalization: *Neo-liberalism, Japan and the Dynamics of Global Capitalism: Theory, History and Methodology*, held at Musashi University, Tokyo, 31st August, 1-2 September 2007.
- KAWAMURA, Tetsuji, "Financial Instability under the Globalization," presented at *Round Table Discussion on Financial Reforms in India*, Academy of Third World Studies, Jamia Millia Islamia University, Maulana Mohamed Ali Jauhar Marg, New Delhi 110025, India, March 7, 2007.
- KAWAMURA, Tetsuji, "Japanese Management and Production System and their Importance for Indian Companies in the Globalization", presented at a Seminar of the Bombay Chamber of Commerce and Industry, Mackinnon Mackenzie Building, Ballard Estate, Mumbai 400 001, India, September 13, 2006.
- KAWAMURA, Tetsuji, "Japanese Management and Production System and their Importance for Indian Companies in the Globalization", presented at a Seminar of Mahratta Chamber of Commerce, Industries And Agriculture (MCCIA), at Conference Room 2, 5th floor, MCCIA Trade Tower, International Convention Centre Premises, Senapati Bapat Road, Pune 411 016 , India, September 11, 2006.
- KAWAMURA, Tetsuji, "The impacts of globalization on the Chinese economy - focusing on the role of Japanese transplants in the development of management and production systems in China and their socio-economic effects," **presented at the Second Conference of International Forum on Political Economy of Globalization**, School of Oriental and African Studies (SOAS), University of London, Renmin University of China (RUC), Study Group on Contemporary Issues and Marxian Economics (SGCIME) "*Globalization, China, and the Dynamics of Late Development*," held at Renmin University of China, Beijing, 1-3 September 2006 .
- Kawamura, Tetsuji, "The Transformation of Pax Americana and Global Capitalism," presented at Founding Conference International Forum on Political Economy of Globalization**, School of Oriental and African Studies (SOAS), University of London, Renmin University of China (RUC), Study Group on Contemporary Issues and Marxian Economics (SGCIME), "Comparative Political Economy of Globalization: Towards a Systemic Perspective," held at SOAS, London, September 16-18, 2005 .
- Tetsuji Kawamura, "*Hybrid Factories in North America: Changes of the Japanese Management and Production System in the United States between 1986-89 and 2000-01*," presented at, EL COLEGIO DE LA FRONTERA NORTE, TERCERA SESION SEMINARIO PERMANENTE, "**LAS REGIONES ANTE LA SOCIEDAD DEL CONOCIMIENTO**," "Innovación y Competitividad en la Industria Automotriz: Retos y Oportunidades para Baja California", 13 de septiembre, 2005, Tijuana, Mexico.
- Kawamura, Tetsuji, "Globalization and the Impacts of Hybridization Dynamism, " presented at a Seminario sobre globalización y la planta Ford de Hermosillo,
En una mesa estará el especialista japonés Tetsuji Kawamura "Las multinacionales del sector automotriz y electrónico de USA",
- Kawamura, Tetsuji, " Las multinacionales del sector electrónico y automotriz en USA," presented at MESA REDONDA, "EMPRESAS MULTINACIONALES: REESTRUCTURACION INDUSTRIAL Y RETOS ANTE LA COMPETENCIA GLOBAL Y REGIONA," FUNDACION FRIEDRICH EBERT, Mexico City, Septiembre 5, 2005.
- Kawamura, Tetsuji, "The Financial Reforms and their Problems in China", presented at the International Symposium on Chinese Financial Reforms held by The Musashi University Research Institute Open Research Center Project and The Promotion and Mutual Aid Corporation for Private Schools of Japan Science Research Promotion Fund Project, "Financial Instability under Globalization," Novotel Xinqiao Beijing, 2 Dongjiaominxiang, Dongcheng District Beijing 100004, China, September 4, 2004.
- Kawamura, Tetsuji, "Globalization and our Research Agenda, presented at the Founding Conference in Brazil of the Musashi University Research Institute Open Research Center Project, held at Hotel Novo Mundo Praia do Flamengo, 20 - Flamengo Rio de Janeiro - Brasil CEP 22210-030, August 28-29, 2003.
- 河村哲二、「戦後バックス・アメリカーナ経済システムの転換と「ニューエコノミー」 経済理論学会第49回大会 共通論題(アメリカの「繁栄」を問う)報告、2001 年 10 月 21 日、駒澤大学
「アメリカ経済の戦後再転換過程(1945-49 年) 戦後経済システムへの移行」土地制度史学会 第63回記念大会(東京大学)

共通論題『20世紀資本主義 歴史と方法の再検討』第1グループ 第3セッション「戦後改革50年」報告、1998年11月23日。

Hokkaido Association for American Studies, The 16th Sapporo Seminar in American Studies: "Science and Technology for American Society" August 1-4, 1995 (北海道アメリカ学会 第16回アメリカ研究札幌クールセミナー「アメリカ社会と科学技術」1995年8月1～4日、報告)

社会経済史学会 第62回全国大会 共通論題『第二次大戦期の企業と労働』報告、「アメリカ:戦時経済と戦後企業体制の形成」1993年10月17日。

"On the Crisis of 1920 of the United States," a Graduate Seminar of the Economic Department of University of Massachusetts, October 1984

"An Outline of the Crisis Theory of the Uno School," a Graduate Seminar of the Economic Department of the University of Massachusetts, March 1984.

"Problems of the Militarization of the US Economy after World War II," Union for Radical Political Economy 1982 Summer Conference, at Becket, Massachusetts, U.S.A., August 1982.

(2) 研究報告書・その他

文部科学省科学研究費補助金基盤研究 B(1) 「中国における市場経済化の進展に関する理論的実証的分析」(研究代表者:新潟大学教授菅原陽心)、平成16-21年度、課題番号16330035 報告書。

文部科学省科学研究費補助金基盤研究 B(1)国際学術研究「通貨・金融危機後のアジア経済の再編成と構造変化およびその影響に関する実態調査研究」(研究代表者:武蔵大学経済学部教授 河村哲二)、平成13～15年度、課題番号13572021)、報告書、2004年8月、総頁数216頁+。

文部省科学研究費補助金基盤研究 A(1) 「北米における日本型生産システムの需要と普及および変容に関する実態調査」(代表:帝京大学経済学部教授 安保哲夫)、平成12～13年度、報告書(序章『北米日系工場における日本型経営・生産システムの現状の全体像』、I-3「電気組立工場」、平成14年6月、総頁数175頁+。

文部省科学研究費補助金基盤研究 A(1) 「アジア経済の再構築と日系企業の新戦略 地域統合・企業連携・市場再編のシナリオ」(代表:國學院大学経済学部教授 T w u照彦)、平成11～13年度、報告書(5.「東アジア・東南アジア経済の工業化と世界経済の構造変化 日系企業の事業戦略との関係で」)、平成14年3月。

「戦後パックス・アメリカナ経済システムの転換と「ニューエコノミー」 経済理論学会第49回大会 共通論題(アメリカの「繁栄」を問う)報告、2001年10月21日、駒澤大学

文部省科学研究費補助金基盤研究 C(2) 「1990年代のアメリカの産業的再生の研究」(研究代表者:武蔵大学経済学部教授 河村哲二)、1997～1998年度、報告書、1999年3月、総頁数97頁。

「アメリカ経済の戦後再転換過程(1945-49年) 戦後経済システムへの移行」 土地制度史学会 第63回記念大会(東京大学) 共通論題『20世紀資本主義 歴史と方法の再検討』第1グループ 第3セッション「戦後改革50年」報告、1998年11月23日。

"Reappraisal of Structural Changes of the U.S. Economy in the 1980s," Nagoya University Faculty of Economics Discussion Paper Series, March 2000, pp.1-31.

研究動向「東京大学社会科学研究所編『20世紀システム2 経済成長 基軸』」東京大学社会科学研究所『社会科学研究』第50巻5号 1999年。

「アメリカ経済の戦後再転換過程(1945-49年) 戦後経済システムへの移行」、土地制度史学会第63回記念大会共通論題『20世紀資本主義 歴史と方法の再検討』第1グループ第3セッション「戦後改革50年」報告、1998年11月23日。

財団法人産業研究所「日英経営・生産モデルの競争と協調に関する調査研究」報告書(第2章「電機組立のハイブリッド工場」)『国際政治経済動向の調査研究』8-13、1997年6月。

Hokkaido Association for American Studies, The 16th Sapporo Seminar in American Studies: "Science and Technology for American Society" August 1-4, 1995 (北海道アメリカ学会 第16回アメリカ研究札幌クールセミナー「アメリカ社会と科学技術」1995年8月1～4日、報告)

財団法人産業研究所「中国における市場経済化と地方国家機関の機能転換に関する調査研究」報告書(第2部第1章「新・広州周辺地区における日系電機工場の経営実態と政府規制」)『国際政治経済動向の調査研究』7-5、1996年3月。

社会経済史学会 第62回全国大会 共通論題『第二次大戦期の企業と労働』報告、「アメリカ:戦時経済と戦後企業体制の形成」1993年10月17日。

「長期経済変動と経済学の『中間理論』」吉川洋・岡崎哲二編『経済理論への歴史的パースペクティブ』東京大学 出版会 1990年「コメント」。

「アメリカ経済再構築のゆくえ」『月刊 状況と主体』谷沢書房 1988年5月。

"On the Crisis of 1920 of the United States," a Graduate Seminar of the Economic Department of University of Massachusetts, October 1984

"An Outline of the Crisis Theory of the Uno School," a Graduate Seminar of the Economic Department of the University of Massachusetts, March 1984.

"Problems of the Militarization of the US Economy after World War II," Union for Radical Political Economy 1982 Summer Conference, at Becket, Massachusetts, U.S.A., August 1982.

(2) 書評

「中川辰洋著『1999年ユーロ圏誕生』」『金融財政事情』1999年2月8日号、47頁

東京大学社会科学研究所『20世紀システム2 経済成長 基軸』(東京大学出版会、1998年)『経済セミナー』1998年9月号
「侘美光彦・杉浦克己編『国際金融 基軸と周辺』」社会評論社、『季刊クライシス』1987年冬。
「辻忠夫著『現代資本輸出論』」『図書新聞』1979年8月11日。

(3)現地調査・研究プロジェクト

文部科学省科学研究費補助金基盤研究 A(1)、海外学術調査研究「国際学術研究金融危機の衝撃による経済グローバル化の変容と転換の研究 米国・新興経済を中心に」平成21～24年度(課題番号21252004)(研究代表者)。2009年度:9100千円(直接経費:7000千円,間接経費:2100千円)2010年度:9360千円(直接経費:7200千円,間接経費:2160千円)2011年度:7280千円(直接経費:5600千円,間接経費:1680千円)2012年度 直接経費720万円。
文部科学省科学研究費補助金基盤研究 B(1)「中国における市場経済化の進展に関する理論的実証的分析」平成16-21年度 課題番号16330035(研究分担者) 直接経費3,200,000円
日本私立学校振興・共済事業団 学術研究振興資金「グローバル化下の金融不安定性 アジア・中南米地域の事例の国際比較研究 平成16年度～平成18年度(研究代表者)。
文部科学省私立大学学術研究特別推進事業オープンリサーチ・センター整備事業「グローバル化による各国・各地域の経済、社会、文化変容の実態と影響に関する国際比較研究」、平成15年度～平成19年度(武蔵大学総合研究所、研究代表者)。研究経費総額5,460万円
文部科学省科学研究費補助金国際学術研究「通貨・金融危機後のアジア経済の再編成と構造変化およびその影響に関する実態調査研究」平成13～15年度(研究代表者)。3400万円
文部省科学研究費補助金基盤研究A(1)「北米における日本型生産システムの需要と普及および変容に関する実態調査」(代表:帝京大学経済学部教授安保哲夫)、平成12～13年度(研究分担者)。直接経費2,280万円。1,157万円
文部省科学研究費補助金基盤研究A(1)「アジア経済の再構築と日系企業の新戦略 地域統合・企業連携・市場再編のシナリオ」(代表:國學院大学経済学部教授T w u照彦)、平成11～13年度(研究分担者)。
文部科学省私立大学学術研究特別推進事業学術フロンティア推進事業帝京大学システムラボ「日本型経営・生産システムの国際化に関する国際共同研究」(研究代表者:帝京大学経済学部教授安保哲夫)、平成11～15年度、(研究分担者)。
文部省科学研究費補助金国際学術研究「日欧経営・生産システムの競争と協調」(代表:帝京大学経済学部教授安保哲夫)1998年(研究分担者)。
文部省科学研究費補助金基盤研究C(2)「1990年代のアメリカの産業的再生の研究」1997年～1998年度(研究代表者)。
文部省科学研究費補助金基盤研究B(1)「アジアにおける市場経済の諸類型とその形成・発展に関する研究」(代表:国土館大学政経学部教授山口重克)、1997年～2000年度(研究分担者)。
財団法人産業研究所「日英経営・生産モデルの競争と協調に関する調査研究」(研究代表:東京大学社会科学研究所教授安保哲夫)、1997年(研究分担者)。
財団法人産業研究所「中国の市場経済化と地方国家機関の機能転換 県・市の行政と政治」(委員長:帝京大学教授橋本晃和)1995年(研究分担者)。
文部省科学研究費国際学術研究「アジア諸国における日系工場への技術移転 自動車・電機産業を中心としたケーススタディー」(代表:埼玉大学教授 板垣博)1992～1993年(研究分担者)。
文部省科学研究費重点領域研究「高度情報化に伴う社会システムと人間行動の変容に関する研究(代表:東京大学名誉教授高木教典)第4群(代表:東京大学教授伊藤誠)1991～1994年(研究分担者)。
トヨタ財団予備研究・総合研究「日本企業のアメリカ現地生産 自動車・電機における日本的経営の『適用』と『適応』」(代表:東京大学社会科学研究所教授安保哲夫)1985年、1987～1989年(研究分担者)。

(4)年鑑・事典の項目等

伊東光晴編『岩波 現代経済学事典』岩波書店2004年9月(総頁数904頁(「経済の軍事化」(216-217頁)、「世界大恐慌」(473-474頁)、「戦時経済」(483頁)。

『平凡社 百科年鑑1999』

『デジタル百科年鑑1999年』(「世界経済(1998年)」 「世界経済危機」)日立デジタル平凡社、1999年5月

(4)在外研究

US-Japan Education Commission (Fulbright Program), F.D.F.Grant, 1983-85, a Visiting Adjunct Professor of Department of Economics, University of Massachusetts.

以上